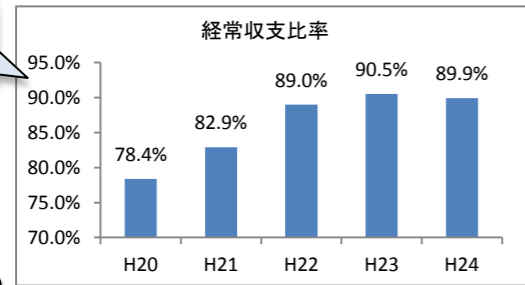


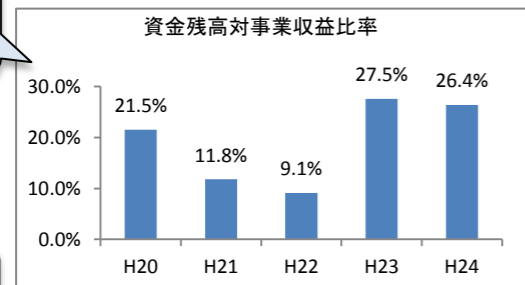
都道府県名	団体名	事業名	類似団体	面積(平方キロ)	人口密度(人)
A県	B市	下水道事業		約430	約1,200
処理区域内人口(人)	資金不足比率	自己資本構成比率	普及率	接続率	
約310,000	-	約51.0%	約60.0%	約91.0%	

分析表の例

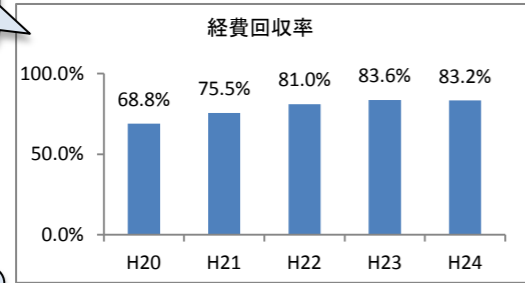
経営の健全性



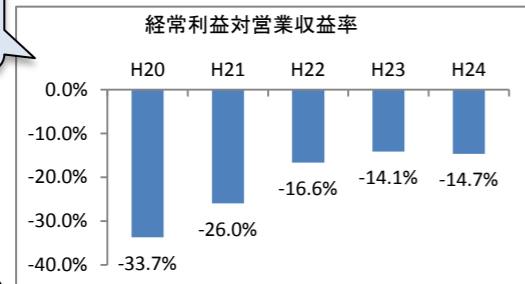
資金の余力度



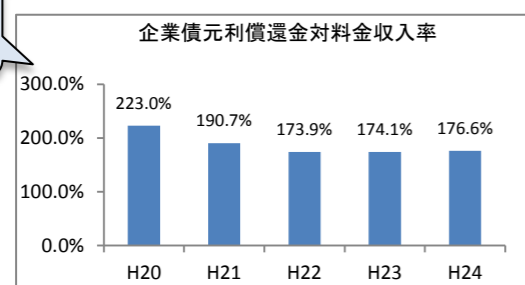
経営の効率性



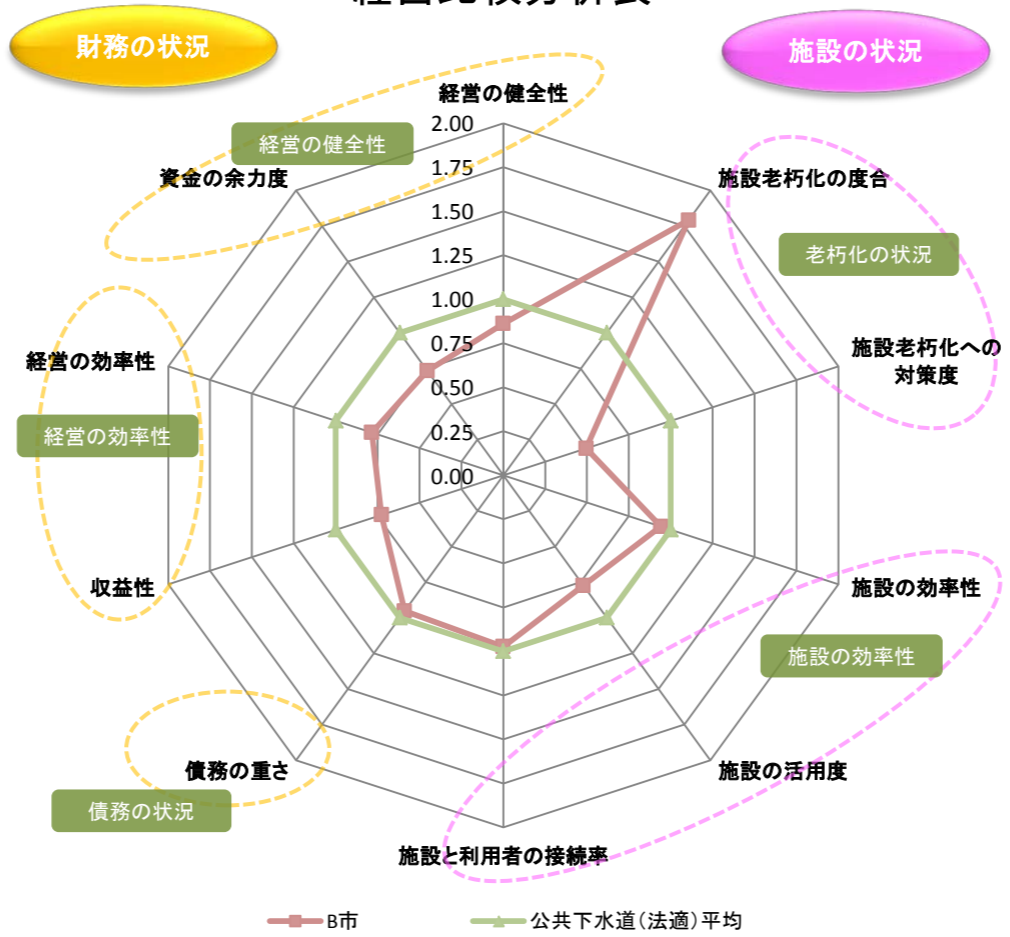
収益性



債務の重さ



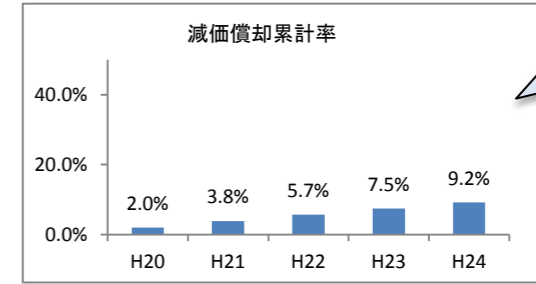
経営比較分析表



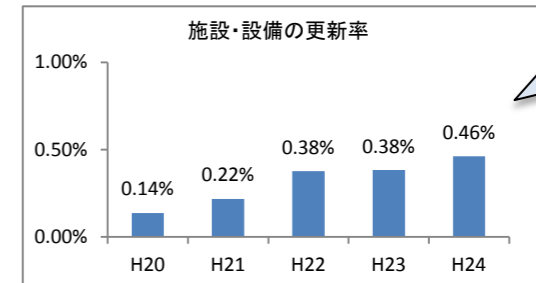
※経常収支比率、経費回収率は100%を基準(1.00)としている。  
※チャートは外側に広がる方が良好な状態。

経営分析コメント

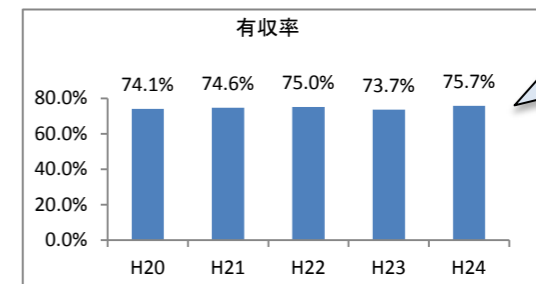
(記入例)  
 ・経常利益が赤字で、経常収支比率も100%を割り込んでおり、経営規模と比べて企業債の規模が大きいためによる利払負担がP L上の収益圧迫要因となっている。  
 ・施設はまだ新しく、最近の投資による企業債負担が影響している。  
 ・施設は新しいが、経費回収率、施設利用率が低く、整備した施設が現状では適切な水準の料金収入に結びついていないため、施設効率を改善するとともに、運営体制のあり方や今後の投資のあり方を見直す必要がある。



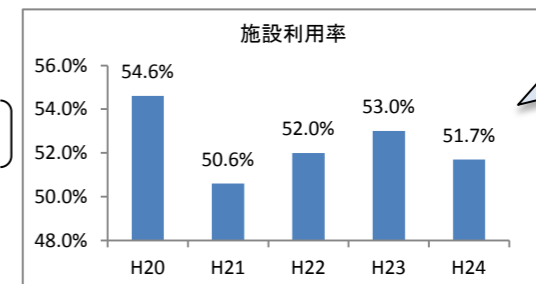
施設老朽化の度合



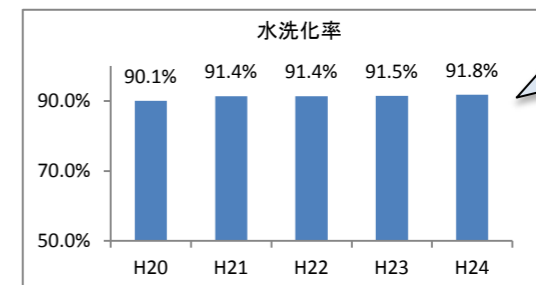
施設老朽化への対策度



施設の効率性



施設の活用度



施設と利用者の接続率